

令和6年3月30日

関係各位

鳥山学舎 世田谷区立鳥山北小学校
校長 河野 芳浩

前年度の改善方策について実行した改善結果

1 重点目標1：「キャリア・未来デザイン教育」の充実による、思い描く未来を実現することができる資質・能力の育成

《取組》

- ◎学校生活を通して、学ぶことや協働することの意義を実感させる。
- ◎教育活動全般を通して、「目標に向かって頑張る力」「人とうまく関わる力」などの非認知能力を育み、学びに向かう力の育成を図る。
- 子どもにとって楽しく分かる授業や計画的・創造的な特別活動の実施を通して、子どもの学校に対する満足度の向上を図る。
- 学習や生活の振り返りやキャリア・パスポートなどを活用して、子どもが主体的に自身を振り返り、児童が自己の良さに気付いたり、自信を高めたりするとともに、将来への希望や抱負がもてるようとする。



《結果》

児童評価：目標をもち、その実現に向けて努力している。肯定的回答 R4:75.6%→R5:70%

児童評価：学校行事は達成感がある。肯定的回答 R4:83.4%→R5:81%

保護者評価：子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。

肯定的回答 R4:66.7%→R5:57%

2 重点目標2：カリキュラム・マネジメント・ICT活用・探究的な学びの充実による「主体的・対話的で深い学び」の推進

《取組》

- ◎児童一人一人が、自分の学びを振り返り、新たな課題を見付けていく学習サイクルの確立を図るとともに児童の状況に応じた指導の工夫を行う。
- ◎カリキュラム・マネジメントによる授業改善に取り組み、身に付けた資質・能力を生かす問題解決的・探究的な学習過程で「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る



《結果》

児童評価：先生は、児童の意欲を大切にしている。肯定的回答 R4:81.8%→R5:82%

児童評価：授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。

肯定的回答 R4:89.6%→R5:95%

保護者：子どもが考えることや課題を解決することを大切にした授業を行っている。

肯定的回答 R4:77.9%→R5:77%

3 重点目標3：教師と子どもの信頼関係を基盤にした「支持的風土」のある集団づくり や学校・家庭・地域が連携した「共育」による学校力の向上

《取組》

- ◎教育活動全般を通して、人権尊重の精神を培い、偏見や差別、いじめを許さず、自他の良さを認め合い尊重し合う人権教育を推進する。
- 地域運営学校としての機能の充実を図り、子どもも保護者も「みとめあい・まなびあい・そだてあい」のできる風土の醸成を図る。
- 指導内容の共通理解、情報共有と指導の明確化を図り、子どもとの信頼関係を構築し、規範意識の向上と互いに認め合える風土の醸成を図る。



《結果》

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 児童評価：学校生活は楽しい。 | 肯定的回答 R4:85.5%→R5:85% |
| 児童評価：先生に注意されたことは、理解できる。 | 肯定的回答 R4:89.7%→R5:92% |
| 保護者評価：学校生活は子どもにとって楽しい。 | 肯定的回答 R4:91.3%→R5:87% |